

原子力規制委員会物品・役務等に係る契約適正化監視等委員会
審議概要

開催日及び場所	令和2年11月30日（月） Web 開催
出席委員	委員 南島和久（新潟大学人文社会・教育科学系（法学部）教授） 委員 前田泰宏（EY 新日本有限責任監査法人公認会計士） 委員 升田 純（中央大学法科大学院教授、弁護士） 委員 山形康郎（弁護士法人関西法律特許事務所弁護士）
審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
委員会概要	<p>1. 委員長選出及び委員会の運営等について 委員の互選により升田委員を委員会委員長に選出。また、委員会の運営に関する事項等について了承。</p> <p>2. 平成31年度（令和元年度）の契約に係る点検・見直しについて (1) 全体の契約状況（契約方式、件数、金額等）及び 前回委員会意見を踏まえた取組 事務局から資料に基づき説明及び質疑応答 (2) 契約手続きの点検・見直し 事前に抽出した個別案件について、担当課室からの説明及び質疑応答</p> <p>3. その他 Web 開催に対する意見・感想 他</p>
抽出案件 （総数7件）	○ 競争入札方式 2件 ○ 企画競争方式 1件 ○ 参加者確認公募方式 1件 ○ 競争性のない随意契約 2件 ○ 不落随意契約 1件
委員の意見等	別紙のとおり

審議における主な意見、感想等

1. 全体の契約状況及び前回委員会意見を踏まえた取組

- ・特に意見・コメントはなかった。

2. 契約手続きの点検・見直し

①参加者確認公募方式

- ・前年度に2者の応札があったということは、能力的には実施可能な者が2者いたということでもある。そのような状況の中で前年度の業務結果を有していることを前提とした契約であるならば、業務結果の開示方法を工夫すべきとの意見があった。

②不落随意契約

- ・（予定価格内で契約できたことは）結果として良かったが、（当該解析コードはメジャーなコードであるものの今回特殊な解析内容であったことを踏まえると）潜在的な事業者を如何に掘り起こすかが課題との意見があった。

3. その他

- ・今回より新たに資料に加えた契約方式別一覧の推移については、契約方式別の件数や割合が可視化されて分かりやすくなったため、次回以降も継続するよう意見があった。
- ・今回、Web で開催されたことに対し、説明者によって聞き取りにくい面があった等の感想があり、次回以降 Web 会議となった場合は会議運営の方法を更に検討するよう意見があった。

以上